

第 1 号議案 令和 4 年度事業活動報告に関する件

令和 4 年度事業活動報告

1 活動の成果と課題

新型コロナウイルス感染症による影響は今年度も大きかった。グループホームやワークショップで感染確認が相次ぎ、そのたびに隔離策を講じたり、ワークショップの閉所をしたりと対応に追われた。一方徹底した対策を継続したことが奏功し、クラスターを回避することはできた。

法人主催のイベントは今年度も開催を見送った。全国のイベントが再開し、新型コロナウイルス感染症の分類が変更されることもあり、当法人も再開に向けた検討が必要となっている。

就労支援事業の利用者数が減少したことで訓練等給付費収入が低下している。経営を安定させるための今後の方向性が目下の課題である。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業報告 1】 参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業報告 2】 参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業報告 3】 参照

3 活動

- (1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

◎みんなで学ぼうシリーズ…コロナ感染状況を確認しつつ、再開を検討する

再開時は、以前の会場が使用できないため。新しい会場やスタイルの検討が必要である
俱知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催は継続する

実施内容とその結果	・コロナウイルス感染が終息せず、再開検討には至らなかった。
-----------	-------------------------------

◎地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する

月 1 回 (5 月～11 月)、全 7 回の予定

今年度も募集定員は 10 名と縮小する

実施内容とその結果	・ 5 月～12 月、全 8 回開催した ・ 定員を 10 名とし、換気等感染予防対策を実施した ・ 参加者は平均 6.6 名であった
-----------	---

◎地域の支援者向けの WRAP「くらっぷ」は、コロナ感染状況を確認しつつ、会場変更を視野に入れ開催を検討する

開催時は、偶数月第 4 水曜日を継続する

実施内容とその結果	WRAP の特徴である飲み物やお菓子をつまみながらのスタイルは、コロナ禍では感染予防の観点から難しく、今年度も開催検討には至らなかった
-----------	---

<広報活動>

◎通信ともにの発行

障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、月1回の発行を目指す。

実施内容とその結果	月1回、全12回発行した。
-----------	---------------

◎インターネット媒体の充実

ホームページ、ブログの随時更新につとめる。

実施内容とその結果	不定期に更新した
-----------	----------

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

団体名	形態	活動内容とその結果
羊蹄山ろく地域自立支援協議会	参加	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業担当者会議 毎月出席 就労支援部会 毎月出席 知ってる会? 毎月出席 地域活動支援センター「夢の匠」サポート部会 11回出席 1回欠席 障がい者地域包括ケアシステム検討会
羊蹄山麓障害支援区分認定審査会	推薦	
後志圏地域生活移行支援協議会	委嘱	
後志保健医療福祉圏域連携推進会議	委嘱	
倶知安町障害者施策推進協議会	推薦	
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会	理事	北海道地区年4回理事会： 後志ブロック例会
一般社団法人北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部	部会 役員	総会出席、山麓地区会研修会

(3) 講師派遣活動・実習受け入れ活動

派遣先・委託契約団体	月日	派遣場所および内容とその結果
特定非営利活動法人きなはれ	4月7日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	6月9日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	7月7日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	8月9日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
北星学園大学	8月1日～13日 うち11日間	精神保健福祉援助実習
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会	6月5日	一般社団法人北海道精神保健福祉士協会全道大会 実行委員

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

活動項目	計画	実施内容とその結果 注(前年比)
会員	正会員25人以上 賛助会員団体・個人合わせ80人以上	正会員19人(0) 賛助会員団体3(+1) 個人45人(+2)
寄付金	目標人数のべ20人	のべ21人(+9) 747,040円(+502,040)

(5) 助成金・補助金活用の活動

助成・補助団体名	金額	助成内容
北海道共同募金会	790,000 円	赤い羽根共同募金（除雪機）
日本郵便株式会社	申請中（510,000 円）	年賀寄附金配分(GHエアコン)

(6) 認定NPO法人活動

- ◎なぜ寄付が必要なのか、将来設計と寄付金の使いみちを明確にする。
- ◎認定 NPO 法人であることを広め、活動の賛同者を募る。
- ◎寄付金の納税還付の利点を広める。

実施内容とその結果	
	広める活動は随時ホームページや通信とともになどでおこなっている。法人運営会議で寄付金増加について検討しているが、具体的な計画には至っていない。

(7) 借入金返済の取り組み

- ◎事業の黒字化を維持し計画どおりの返済を実施する。

活動項目	区分	実施内容とその結果
長期借入金	役員・個人	3 件契約通りに返済を実施できた。
	金融機関	1 件契約通りに返済を実施できた。

(8) 職員の働く意欲向上を目指す。

活動項目	計画	実施内容とその結果
キャリアパス制度の研修制度の充実と評価制度を再構築する。	研修制度	管理職・指導職・職員の階層別研修を基本的に毎月実施した
	評価制度	検討できなかった
	職位昇格	4 月から主任を配置した
福利厚生を充実し、働く環境の整備を行う。		<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則第 24 条(休日)にしりフレッシュ休暇を新設した。 ・警報やコロナ感染対策時の休業を整理し職員へ周知した。 ・LINE WORKS を活用し緊急連絡網を整備した
職員のストレスチェックを導入し、年 1 回は全職員対象の理事長面談を実施する。		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象の面談は計画できなかった ・必要時の員面談はを施した

(9) 防災対策を定期的実施する。

- ◎新型コロナウイルス感染症の防止対策を定期的に見直し常に実行できているか点検する。

実施内容とその結果	
	対策を定期的話し合い、感染症対策の見直しをおこなっている。

- ◎火災訓練を年 1 回以上実施する。また事業所単位で防災教育を実施する。

実施内容	WS	GH
火災訓練	GH と合同 6 月 29 日 単独 3 月 16 日	WS と合同 6 月 29 日 単独 3 月 12 日
防災教育	8 月 2 日	9 月に複数回

◎地震、洪水を想定した防災訓練を年1回以上事業所単位で実施する。

WS	GH
9月1日	9月23~29日

(10) 虐待防止の取り組み

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none">• 虐待防止委員会を設置し、対策会議をおこなった• 全職員向けに虐待防止研修をおこなった
-----------	---